## 【 請願審査】

**○請願第１号「JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業の一時凍結を求める請願書」**

問　事業を一時凍結した後、具体的にどのように事業を見直すか。また、凍結期間はどの程度を想定しているか。

答　まず現在の工事を一時凍結し、JR・名鉄と協議した上で、事業負担等の見直しを求める。具体的な見直し時期や方法は定めておらず、まず工事を止め、協議する時間の確保を求める。

問　請願書には「身の丈にあった負債になるような計画を作成してください」とあるが、具体的にどの程度の負担を指すのか。

答　具体的な数値目標を示しているわけではないが、将来負担比率に特に懸念がある。

問　一時凍結した後、中止は考えているか。

答　負担割合の見直しができず、市の負担が大きくなるのであれば、工事の縮小も含めた検討を求める。事業の中止を求めるものではない。



▲JR・名鉄弥富駅自由通過路鳥瞰図

## 【討論】

**反対**　那須英二、佐藤仁志 議員

当初予算における甘い積算が大きな乖離を招き、市民に財政不安を煽っている。内訳が不透明な自由通路事業への多額の公金支出が、市の財政を圧迫している。

**可決**　認定第１号

**討論**

**賛成**　伊藤千春 議員

個別事業の是非や課題の検証と決算認定は、切り分けて考えるべき。関係法令に基づき正しく作成され、計数上の適正な執行が確認されている。

**反対**　那須英二 議員

**可決**　認定第３号、認定第４号、認定第５号

被保険者の負担がますます重くなっており、制度の抜本的な見直しが必要である。

**反対**　那須英二、佐藤仁志 議員

**可決**　認定第６号

一般会計から毎年約4億円もの多額の繰り入れがされている。新規事業への着手により負担の増大が懸念される。

**反対**　伊藤千春、平野広行、堀岡敏喜 議員

工事が進む中、この時期の一時凍結は契約上の影響や追加費用の発生、工程への悪影響を招くおそれがある。中期財政計画において実質公債費比率や将来負担比率は国の早期健全化基準を大きく下回っており、特段心配な状況ではない。

**不採択**　請願第１号

**討論**

**賛成**　那須英二、佐藤仁志、加藤明由 議員

資材価格や人件費が高騰する中で、工事の継続は極めて危険。事業の即時中止でなく一度立ち止まり、調査と協議の時間を確保し、計画全体の見直しが必要。